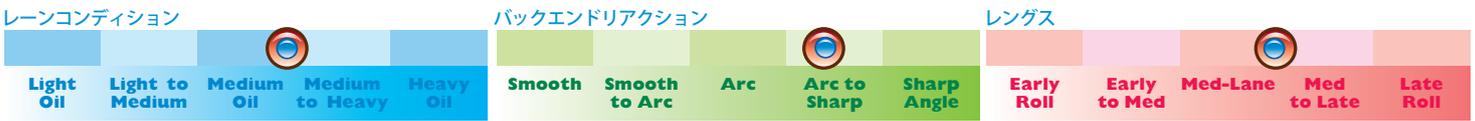
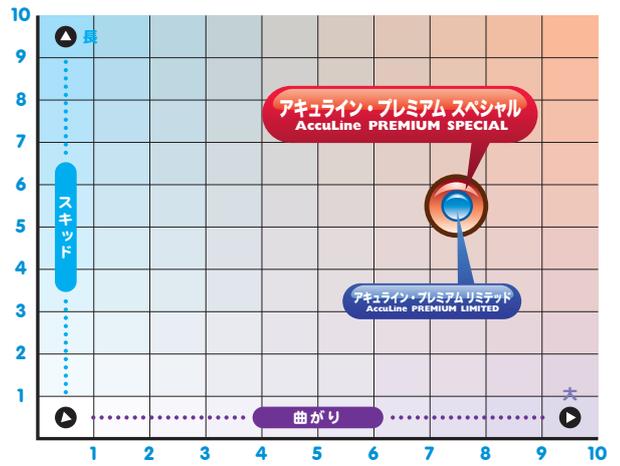
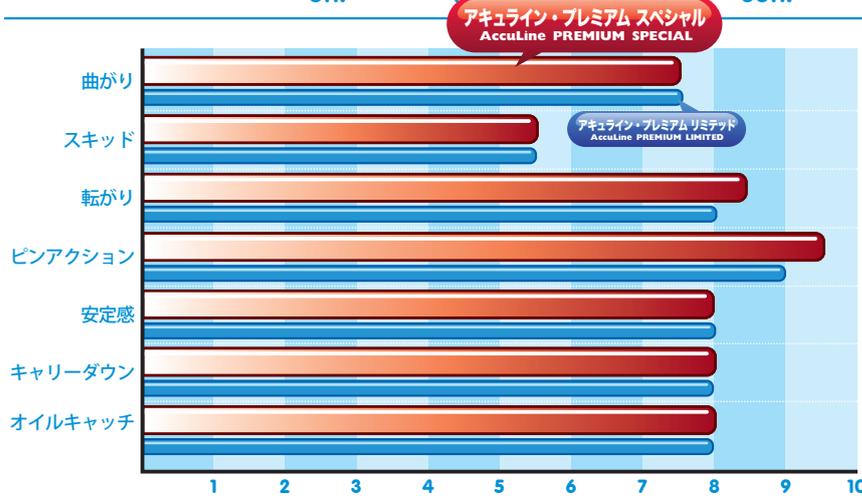
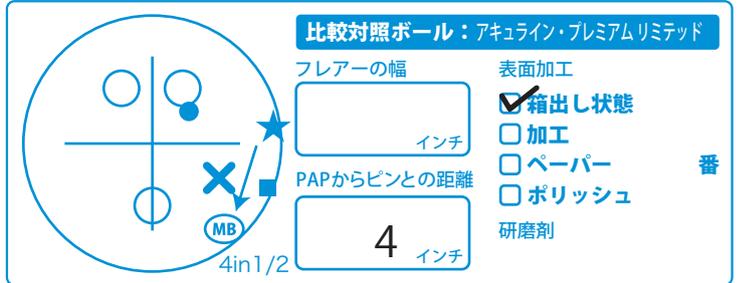
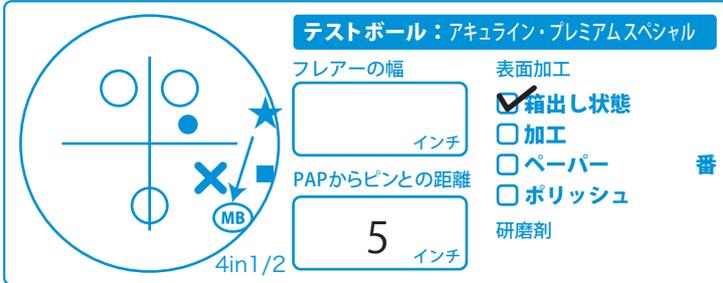


# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>アキュライン・プレミアム スペシャル</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.460</b>	△RG <b>0.052</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール



### ボールの評価

2011年限定で発売された初代Accu-line Premium。それから常に限定発売個数を上回るニーズに手に取り、投球できなかった方もいらっしゃるでしょう。今回のAccu-line Premium SpecialはそのAccu-line Premiumのイメージをそのまま継承させ、コアの数値を再検証し、転がりを強めながら走りときれを実現させました。

今回のこのAccu-line Premium Specialの開発コンセプトは「Accu-line Premiumの性能をまるくそのままに、現代のテクノロジーを注入すること」でした。ただ単に複製させるだけでなく現在のテクノロジーを活かし、さらに高みを目指す。

私たちABS開発チームの原点はここにあります。

Premium Specialバージョンで選んだカラーはRed/Pearl。それをAccu-line Premiumではおなじみの10,000ポリッシュ仕上げ(ダイヤモンドコンパウンド)にして、カバーストックのキャッチを残したままスキッドを作っています。新たに変更させた部分はナノデスの生命線でもある衝撃吸収システムを最新のものを採用。なるべく以前のイメージを残しながら、ピンアクションの向上を目指しました。比較投球をすると曲がりのイメージはほとんど変わりません。それでもAccu-line Premium Specialのほうが転がり感があるイメージのためか若干ですが曲がり始めが早い感じも見受けれます。相変わらずポケットに吸い込まれるというか、ボールとピンの絡みが良いというか、ポケット付近にボールを集めておけば何とかならないような雰囲気があるのがナノデスの神髄とも言えますが、国産のボールは納得いくまで何度も作り直しをし、妥協とは無縁の結果がナノデスシリーズに反映させられているのもニーズの高さなのかもしれません。

### 特記事項

**コアの数値を再調整し、Red/PearlのAccu-line Premium Specialが個数限定で発売されます。10,000ポリッシュ独特のスキッド感とバックエンドの強さは必見です。**